

勝山中学校PTAニュース

平成27年3月12日
勝山中学校 PTA
会長 澤 さやか

3年生のみなさん、卒業おめでとうございます！
“一生懸命はかっこいい”という姿をたくさん見せてくれて、
ありがとう！良き先輩の姿を、勝山中学校の伝統を、後輩達
が受け継いでくれることを期待します。

勝中に通っていたからこそ出会えた先生、仲間、先輩や後輩、
地域のおばさん、おじさん…。勝中に通っていたからこそ経験
出来た体育大会、文化祭、部活動、校外活動…。その出会いと
経験を糧にして、自信をもって巣立って行ってください!!



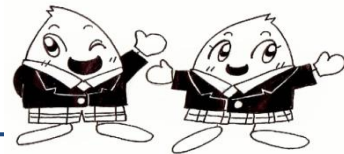
PTA後期総会



会員数620名の内、出席者44名・委任状453名で
合計497名となり、定足数を満たし総会は成立しました。
第1号議案・第2号議案ともにご承認を頂き、ありがとうございました。
次年度本部役員・監査委員についてもご信任を頂きました。
来年度は新メンバーでの出発です。今後も「会員同士、
出来るときに出来ることをして支え合う」勝山中学校 PTA で
ありたいと願います。皆様一人ひとりの協力が大きな支えとなり
ます。来年度もよろしくお願いいたします。

平成27年度本部役員・監査委員

会長	秋田 和美	1-4
副会長	西森 留美	27年度入学
副会長	吉田 千文	1-3
庶務	松山 のり子	1-2
庶務	光村 雅美	2-3
庶務	村上 あけみ	27年度入学
会計	今村 美穂	1-2
会計監査	高柳 史江	1-4



制服リサイクルに ご協力おねがいします！

制服だけでなく、柔道衣・体操服・ジャージ上下・体育館シューズもお洗濯されたものを 職員室 又は 在校生に預けて先生へお渡し願います。



保護者ならびに教職員の皆様、今年度もPTA活動にあたたかい
ご理解とご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

3年生保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。

勝山中学校に通っていなければ出会わなかった先生や保護者、地域
の方々とのつながりが、今後も、子どもたちの成長を見守りながら
続いていくことを願っております。 PTA本部役員一同

思い出に残る 卒業記念講演会

今年度は、ベストセラー「嫌われる勇氣」の著者岸見一郎氏にお越し頂きました。講演や取材で大変お忙しく、前日は東京の高校で講演、翌日は韓国で講演という過密スケジュールの中、お越しただけたことに感謝しています。

岸見先生はアドラー心理学の第一人者です。

「嫌われる勇氣」の本の中でアドラーの思想を書きそれが多くの人に反響を呼んでいます。

今回は「嫌われる勇氣～“いま、ここ”を真剣生きる」というテーマで話して頂きました。



< 自分に自信を持ってほしい・自分のことを好きになってほしい >

① 自分の短所と思っていることは長所に置き換えられる

例えば 集中力がない ⇔ 散漫力、同時に並行して色々なことができる

飽きっぽい ⇔ 決断力がある、違うことに移る勇氣がある

性格が暗い ⇔ 優しい、人をむやみに傷つけない

② 誰かの役に立っていると感じる時、ありがとうと言ってもらえる時に自分に自信が持てる

③ 課題の分離

人の課題に踏み込まない。自分の課題に踏み込ませない。最終的に責任がかかるのは誰か、それを見極めて人の課題には介入しない。自分の課題は自分で責任をとる。助けを求めてもいいが責任を転嫁しない。

< 卒業生に送る言葉 >

① “いまを真剣に生きる”

過去のことはもう終わってしまったことなので、くよくよ考えて落ち込まない。未来のことも何が起こるか分からないのだから不安に思って悩まない。ただ自分の足元を見て、いまを真剣に生きることが大切。今は目標達成のための準備期間ではない。いい加減でなく深刻でなく真剣に。何とかしようとして楽しむべき。目標が達成出来なくても、その過程は無駄ではない。

② 「嫌われる勇氣」とは、嫌われてもいいということではなく、人からどう思われるかを気にして嫌われることを恐れてばかりいると自分の人生を生きられない。嫌われる勇氣を持つことも大切である。

③ 自分自身を受け入れる。理想の自分を見ない。「もしも～ならば」という言い方はやめよう。

たくさんお話して頂いたので書ききれませんが、子ども達が心に残ったキーワードが一つでもあればと思います。これからの人生で壁にぶつかった時、ふっとその言葉を思い出すことで壁を乗り越えるヒントになれば嬉しいです。今回は保護者の参加も多く約50人が来られました。親としての子どもへの接し方もお話の中にあり、反省させられる点が多々ありました。

